

2016 年度(平成 28 年度)

# 事業計画

2016年(平成28年)3月30日

学校法人 上智学院

## はじめに

本年4月に、イエズス会系中等教育機関である栄光学園、六甲学院、広島学院及び泰星学園の4つの学校法人との法人合併により、新しい学校法人上智学院が誕生します。“Men and Women for Others, with Others”（他者のために他者とともに生きる）というイエズス会の教育精神を共有する5法人は、この合併によって高等教育と中等教育をより緊密に連携させ、「イエズス会教育の深化」、国内外の「幅広いネットワーク教育の構築」、世界の持続的発展をリードする「次世代の担い手の養成」を目指して協働してまいります。

また、創立100周年の2013年に上智のミッションを「叡智（ソフィア）が世界をつなぐ Sophia - Bringing the World Together」と定め、グローバル化やIT革命が進み、18歳人口が激減していく今後を展望しつつ、上智学院将来構想「グランド・レイアウト 2.0」を公表しました。その改革構想は2014年度から実現に向けてスタートし、今年はその3年目を迎えます。

上智学院は、次に掲げる事業を展開することにより地球規模の課題の解決に寄与し、未来の社会をリードする役割を果たしてまいります。

## I. 事業計画

### A. 上智学院の運営基盤に関する計画

#### 1. 全体計画

##### ①上智学院全体の意思決定過程の見直し及び企画立案の強化と迅速化

- ・新たな選任基準及び選考方法に基づいて次期学長を選出する。
- ・役職位の権限明確化、並びに会議体の整理統合により意思決定の迅速化を図る。

##### ②適切なPDCA（Plan-Do-Check-Act）の整備

- ・大学基準協会の認証評価を受け、大学基準適合の認定を得た上で大学全体の改革を継続的に推進する。
- ・事件、事故等重大リスクにも対応しうるPDCAサイクルを実施することで、全学的なマネジメント体制を構築する。

##### ③IR（Institutional Research）機能の整備

- ・経営、教育研究の改善に資する調査・分析を行うため、学生実態調査等を継続して実施する。
- ・ファクトブック等の刊行等を通じて、ステークホルダーへの情報公開を推進する。

##### ④ステークホルダーとの連携の強化

- ・ステークホルダーとの連携強化のためにステークホルダーデータベースを開発する。
- ・近隣パートナー、地区・町会関係について、渉外窓口の一本化により更なる情報収集・連携強化に努める。
- ・後援会をはじめとする学生保証人との交流機会を増やし、会員数の増加を図る。
- ・卒業生及びソフィア会との連携強化のための大学後援・共催事業やイベント等を実施する。

#### 2. 組織・人事計画

##### ①教員組織及び運営（事務）組織の再編成

- ・ 学術院構想を含めた教員組織の再編成計画を立案する。

#### ②教員評価制度の導入

- ・ 教員評価基準を検討し、教員評価制度（個人）のトライアル制度を導入する。

#### ③人件費依存率の改善

- ・ 教職員の適正配置実施によって人件費依存率を改善する。
- ・ 職員の労働生産性向上施策を実行し、事業会社を活用したさらなる業務の外部委託化実施を通じて、法人合併後の学院全体における人件費支出の適正化を図る。

#### ④多様な人材を育成と組織の活性化

- ・ 部局の枠を超えたプロジェクト型業務の推進、全学的な協業体制確立、教職協働プロジェクトのさらなる充実によって、学院発展のためのイノベーションを推進する。
- ・ 多角的な観点に基づく男女共同参画推進施策を継続的に展開し、女性教員比率及び女性管理職職員比率を向上させるための施策を策定する。
- ・ 外国籍特別採用等に関わる採用基準を策定する。

### 3. 財政計画

#### ①財政基盤強化のための諸方策の実施

- ・ 事業会社の活用により学生・教職員へのサービス向上を図るとともに、利益を学院に還元し、学修支援を拡充する。

#### ②収入源の安定的確保

- ・ 高度なリスク管理に基づいた安定的な資産運用収入により、学修支援の拡充と施設設備整備資金の確保に努める。
- ・ SOPHIA 未来募金を中心とする寄付活動の展開を強化して、教育・研究活動推進の財源を確保する。

#### ③効果的支出の実現

- ・ 研究費及び学修支援経費拡充により教育研究の発展を促進する。
- ・ 実績評価に基づく適切な予算配分を可能とする制度を確立するとともに、経営判断に資するデータの提供を図る財務システムを構築する。

### 4. 施設・設備計画

#### ①各キャンパスの有効活用と施設設備の整備計画の策定

- ・ 6号館（ソフィアタワー）の12月竣工（供用開始は2017年4月）に向けた工事と3・4・8・9号館改修工事及び既存施設の最適配置を進める。
- ・ 環境保全、省エネルギー、防災、安全対策を進める。
- ・ 中学校、高等学校の校舎をはじめとする教育基盤整備を進める。

### 5. ICT（Information and Communication Technology）計画

#### ①ICTによる教育研究及び学生支援への新たな価値の創出

- ・ クラウド化の推進によりコンピュータシステム全体の管理運営経費の削減を図りつつ、特に利用者向け機能を向上させた、「24時間365日」利用可能な図書館システムを構築する。
- ・ MOOC（Massive Open Online Courses）、OCW（Open Courseware）等を活用したオープン

教育のさらなる推進を図る。

- ・学院全構成員を対象としたポータルサイトの導入に向けた体制を整備する。

## ②システム監査体制の構築

- ・情報システムポリシーに基づいてシステム監査実施体制を構築する。

## B. 上智大学

### 1. 教学計画

#### ①学士課程（学部）教育の質保証の取り組みの推進

- ・カリキュラムの見直し（2015年度から3年間で科目数を1割削減）を継続しつつ、密度の高い授業と学生の学修時間の確保を実現する。
- ・グローバル化に対応し教養教育を体系化するとともに、専門教育と教養教育を接続する高学年向け教養教育科目を整備する。
- ・各種アンケート調査の実施と分析、FD（Faculty Development）研修の蓄積等により教育力をさらに強化を図り、教育プログラムにおけるPDCAサイクルを構築する。

#### ②大学院教育の高度化と教育組織の再編成の実施

- ・研究科と専攻の機能分化・個性化・重点化を検討し、再編成及び他大学院との連携教育を推進する。

#### ③グローバル化の加速

- ・グローバル化推進のために、クォーター制移行準備、ダブルディグリープログラム等の新たな留学制度構築、留学生を対象とした日本企業インターンシップ及び日本語教育を強化したプログラム開発等の学内制度・プログラム構築に向けた取り組みを進める。
- ・海外の大学や国際機関との連携を促進し、学生の海外派遣や受入を促進する。
- ・海外を含むカトリック高等学校等とのネットワーク強化等の施策を実行する。
- ・アドバイザリーボードによるグローバル化達成状況評価に基づいて、事業取組内容の検証と改善を図る。
- ・海外拠点の機能整備と強化、及び新拠点設置計画の策定準備を進め、戦略的な国際広報を強化することで、海外におけるプレゼンスを向上させる。
- ・国際協力人材育成センター主導の人材育成事業と教育環境改善を推進する。

#### ④入試改革の実施

- ・TEAP（Test of English for Academic Purposes）（4技能）と国際バカロレアの活用を進め、多面的・総合的な入学者選抜方針を策定する。

### 2. 研究・学術交流計画

#### ①国際的評価を受ける重点的研究の推進

- ・「上智大学学術研究特別推進費」の採択課題への対応及びアウトリーチ活動を展開する。

#### ②学術交流の促進

- ・「学内研究分野のマッピング」を活用し、学内外の共同研究形成を促進する。

#### ③研究所・センターの再編成による研究体制と研究支援体制の確立

- ・研究所・センターの活動内容と研究成果の発信、共同研究の促進、再編も視野に入れた在り方の検討、及び研究体制と研究支援体制の確立を図る。

#### ④研究のための資金の安定的な調達

- ・外部研究資金獲得増の支援活動の推進を図る。

#### ⑤産官学連携の推進

- ・研究成果の積極的に公開し、理工学部リエゾンオフィスとの連携強化とコーディネーターの適切な配置により、産官学連携の推進を図る。

### 3. 学生の学修支援・学生生活支援計画

#### ①学修支援の推進

- ・新棟建設に合わせたアメニティスペースの拡充と、学生センター並びに学事センターなどの夜間対応時間延長による学生支援に関する各種サービスを充実する。
- ・関係部局が連携して障がい学生の学修支援を推進する。

#### ②学生生活の支援

- ・学生生活支援のために、奨学金制度の整備拡充、対外国人留学生を含むキャリア支援・就職支援の充実、キャリア教育科目の充実、学生寮運営体制の整備に係る諸施策を実行する。

## C. 上智大学短期大学部

#### ①中長期計画の実行

- ・中長期的な組織・教育体制整備計画を実行する

#### ②教学計画

- ・建学の精神や教育理念、キリスト教的価値観に基づく人間教育を強化する。
- ・英語科目の再編成についての具体案を作成する。
- ・教学全体の改革のため、短期大学基準協会評価観点を活用した PDCA サイクルの確立と継続的な運用を通じて、教育の質の向上及び質保証を推進する。

#### ③学生支援

- ・「学生総合支援センター」による学修支援、生活支援、進路指導を充実させる。

## D. 上智社会福祉専門学校

#### ①将来構想の検討

- ・入学者の推移を精査して、収容定員の見直しや教育課程の統合・廃止を含めた改革案を提示する。

#### ②教学計画

- ・上智のミッション遂行により、真に社会の発展と人びとの幸せに貢献できる福祉人材の育成を推進する。
- ・高校生に向けた説明会の強化、無資格の福祉職従事者に向けた能力開発講座や一般社会人に向けた福祉職への意識啓発講座等の開設など、入学者の安定的確保のための取り組みを強化する。
- ・新たな入試制度を導入して、定員充足率の向上を図る。

#### ③学生支援

- ・国家試験のためのサポート体制を強化して、前年度比で合格率を向上させると同時に、2017年度から導入される介護福祉士国家試験義務化に向けた対策を立案する。

## E. 聖母看護学校

※ 聖母看護学校は、2016年度（平成28年度）より学生募集を停止

- ・聖母看護学校の閉校に向けた準備の推進

## F. 生涯学習

- ・運営に係る組織の再編により、新たな運営方針を策定し、現行プログラムの見直しを実施する。
- ・本学の資源とニーズをマッチングさせて、ターゲットをより明確にした講座を企画する。

## G. 中等教育

- ・各学校法人が創立以来培ってきたイエズス会教育機関として、その基盤を強化してさらなる深化を図る。
- ・イエズス会教育の深化及び研究促進等を目的として「イエズス会教育センター」の設置を目指し、イエズス会教育のリーダーの養成を推進する。
- ・4つの中学高等学校と大学等の連携を通じて、中等教育機関に相応しいグローバル教育を推進する。

## Ⅱ. 2016年度（平成28年度）予算編成の基本方針

1. 事業計画に則った予算立案と適正執行
  - ・事業計画に則った適正な予算の立案と公費の適正執行への認識強化の促進
  - ・予算執行における合規性・経済性・有効性の観点による取引の厳正化の促進
2. 重要課題への予算の重点化
  - ・「上智学院グランド・レイアウト2.0」の重要課題に対する重点的予算配分
3. 収支改善による収支均衡の実現
  - ・業務の見直しによる効率化の徹底と収支均衡の実現
  - ・収支の的確な把握に基づく不採算事業への具体的対応の検討
  - ・金額の多寡によらない収入増加策及び支出削減策の推進
4. 経費削減と最小予算による最大効果の発揮
  - ・教育・研究活動における既存事業の経費削減の「聖域」なき実施
  - ・限られた予算の効果的な使用と恒常的経費の削減
5. 人件費依存率の低減
  - ・人的資源の活用による業務の合理化・効率化の推進
  - ・上智学院の事業活動収支計算書における人件費依存率低減の実現
6. 学費と入学定員の確保
  - ・学費の実質購買力の維持を図る単価の設定
  - ・入学定員の確保のための新たな入試戦略の構築
7. 外部資金の積極的な獲得
  - ・新たな取組みを含めた諸活動に必要な財源の自主確保
  - ・寄付募集活動に必要な基盤強化の継続
  - ・学生支援制度の拡充に向けた教職員全員による寄付金募集活動の展開
8. 管理会計手法の導入とスクラップ・アンド・ビルドの推進
  - ・事業目的別予算枠の設定と中・長期財政計画への反映
  - ・事業別、学部等セグメント別収支状況の適正な把握とPDC Aによるスクラップ・アンド・ビルドの推進

## 2016年度資金収支予算（学院）

（単位：千円）

収入の部			
科 目	2016年度予算	前年度予算	増 減
学生生徒等納付金収入	19,085,961	16,218,193	2,867,768
手数料収入	1,185,322	1,247,869	△ 62,547
寄付金収入	2,989,478	200,000	2,789,478
補助金収入	3,958,878	2,437,175	1,521,703
資産売却収入	3,048,051	3,283,680	△ 235,629
付随事業・収益事業収入	681,642	671,755	9,887
受取利息・配当金収入	680,268	796,444	△ 116,176
雑収入	1,140,023	930,122	209,901
借入金等収入	0	2,600,000	△ 2,600,000
前受金収入	5,261,775	5,045,296	216,479
その他の収入	14,941,414	13,667,081	1,274,333
資金収入調整勘定	△ 6,229,121	△ 6,914,857	685,736
前年度繰越支払資金	4,997,674	5,045,376	△ 47,702
<b>収入の部合計</b>	<b>51,741,365</b>	<b>45,228,134</b>	<b>6,513,231</b>
支出の部			
科 目	2016年度予算	前年度予算	増 減
人件費支出	15,753,356	12,307,650	3,445,706
教育研究経費支出	6,758,850	6,002,347	756,503
管理経費支出	1,716,786	1,586,206	130,580
借入金等利息支出	181,842	170,883	10,959
借入金等返済支出	850,570	703,260	147,310
施設関係支出	8,469,354	6,888,117	1,581,237
設備関係支出	1,462,932	848,412	614,520
資産運用支出	9,005,217	9,000,000	5,217
その他の支出	1,767,937	2,109,409	△ 341,472
予備費	256,600	261,000	△ 4,400
資金支出調整勘定	△ 617,136	△ 273,318	△ 343,818
翌年度繰越支払資金	6,135,057	5,624,168	510,889
<b>支出の部合計</b>	<b>51,741,365</b>	<b>45,228,134</b>	<b>6,513,231</b>



2016年度事業活動収支予算（学院）

（単位：千円）

		科 目	2016年度予算	前年度予算	増減
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	19,085,961	16,218,193	2,867,768
		手数料	1,185,322	1,247,869	△ 62,547
		寄付金	2,576,736	150,358	2,426,378
		経常費等補助金	3,515,723	2,378,355	1,137,368
		付随事業収入	681,642	671,755	9,887
		雑収入	994,225	930,122	64,103
		教育活動収入計	28,039,609	21,596,652	6,442,957
	支事業の活動の部	人件費	15,604,706	12,235,170	3,369,536
		教育研究経費	9,297,839	7,678,118	1,619,721
		管理経費	2,016,328	1,810,927	205,401
		教育活動支出計	26,918,873	21,724,215	5,194,658
教育活動収支差額			1,120,736	△ 127,563	1,248,299
教育活動外収支	収事業の活動の部	受取利息・配当金	680,268	796,444	△ 116,176
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	680,268	796,444	△ 116,176
	支事業の活動の部	借入金等利息	181,842	170,883	10,959
		その他の教育活動外支出	0	42,135	△ 42,135
		教育活動外支出計	181,842	213,018	△ 31,176
教育活動外収支差額			498,426	583,426	△ 85,000
経常収支差額			1,619,162	455,863	1,163,299
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入 (施設設備指定分及び現物寄付含む)	981,712	228,777	752,935
		特別収入計	981,712	228,777	752,935
	支事業の活動の部	資産処分差額	531,943	452,640	79,303
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	531,943	452,640	79,303
特別収支差額			449,769	△ 223,863	673,632
【予備費】			226,600	231,000	△ 4,400
基本金組入前当年度収支差額			1,842,331	1,000	1,841,331
基本金組入額合計			△ 5,319,978	△ 1,618,411	△ 3,701,567
当年度収支差額			△ 3,477,647	△ 1,617,411	△ 1,860,236
前年度繰越収支差額			△ 15,258,007	△ 15,621,954	363,947
基本金取崩額			2,847	0	2,847
翌年度繰越収支差額			△ 18,732,807	△ 17,239,365	△ 1,493,442
(参考)					
事業活動収入計			29,701,589	22,621,873	7,079,716
事業活動支出計			27,859,258	22,620,873	5,238,385
事業活動収支差額			1,842,331	1,000	1,841,331

## 結 び

5校の法人合併により誕生した新たな学校法人上智学院は、「叡智(ソフィア)が世界をつなぐ **Sophia: Bringing the World Together**」というミッションのもと、国籍・性別・年齢などの差異を超え、「自由をもたらす真理と福音的正義」に基づく「世界に並び立つ大学」であり続けたいと願っています。

激動する時代の中で柔軟に対応しつつも、“**Men and Women for Others, with Others**”（他者のために、他者ととともに）の教育精神を決して忘れることなく、カトリックの教育機関として世界的なネットワークを活用しながら、教育、研究、社会貢献を通じて、本学院の使命を果たすことを目指してまいります。